

第2回 こどもワークショップ 「いつでもあそびに行ける体育館・公園」

日時： 令和7年12月13日（土） 13:30~15:30
 会場： 生涯学習センター 4階 第一研修室
 参加者： 参加者：32名（こども 26名、保護者 6名）
 講師： 浅野耕一（秋田県立大学准教授）
 仙田満（東京工業大学名誉教授）
 スタッフ：32名（うち秋田県立大学生9名）



INPUT 1回目のワークショップのまとめ

- 13:30-13:35 注意事項の説明
撮影のお知らせと資料の説明
- 13:35-13:40 講師・スタッフ紹介
- 13:40-13:50 基本設計概略の説明（仙田満先生）
- 13:50-14:00 1回目ワークショップのまとめ
2回目ワークショップの内容の説明
- 14:00-14:05 各グループディスカッションのテーマの決定



新しい県立体育館の説明



2回目ワークショップの内容の説明

OUTPUT 1 ディスカッション

14:10-14:55 ディスカッション

各グループは10テーマから1つを選んで、そしてもう1つのテーマを抽選で決める。その2つのテーマについて、説明を聞いたり、模型を見たりして、自分のアイデアを付箋に書いて、図面に貼ったり、段ボールの模型に挿すフラグを作る。グループ内のみんなにアイデアを共有



やりたいことを、どこで・どのように実現できるかについてアイデアを出し合う



図面と模型を囲みグループのみんなと話し合う



OUTPUT 2 発表

15:00-15:25 各グループの発表会

各グループ毎に付箋を貼った図面を持ち、ホワイトボードに貼り出した上で、3分間のプレゼンテーションを行った。体育館や丘のどの場所で、どのようなことをやりたいのか、またそれをどのように実現するかについて発表した。自分の考えを話しながら、アイデアのフラグを模型に挿すことで、具体的なイメージを共有した。

15:25-15:30 講評・まとめ
（仙田満先生）
（浅野耕一 准教授）



グループの意見をまとめ、みんなの前で発表する



アイデアのフラグを模型に挿すことで、具体的なイメージを共有した

